

恒例の2019 夢広場盛大に!! 第22回 町田発国際ボランティア祭

まちの駅・ぽっぽ町田イベント広場 2019年11月3日(祝)

今年も国際ボランティア祭が、ぽっぽ町田で盛大に開かれました。前日は天候を心配していましたが、やはり「晴れの特異日」だけあって曇りがちでしたが雨は大丈夫でした。今回の夢広場は、特別企画が二つありました。一つは、来年2020年が東京オリンピック・パラリンピックが開かれることから、例年「ボイストレーニング」で会場を盛り上げている Emme さんに「一緒にオリ・パラ応援歌を歌おう」コーナーを設け盛り上げていただく事になりました。もう一つは、町田市が南アフリカ共和国の東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとなったことから、アフリカ日本協議会代表理事の津山直子さんから、「虹の国アフリカ・ネルソンマンデラ」と題してのお話を企画しました。どちらの企画も好評を博し、来年のオリンピック・パラリンピックに繋がるものと思います。

夢広場は午前10時に稲野実行委員長の開会挨拶で始まりました。雨天の心配がありステージでの出し物は15時で終了となりましたが、そのステージでは歌やケーナやオカリナの演奏そして国際色豊かなダンスが次々と繰り広げられました。ハワイアンあり、フィリピンダンスあり、タヒチアンダンスあり・・・またイベント広場では下記の団体による出店があり、珍しい物品が所狭しと販売されていました。会場にはそれらに合わせて踊ったり歌う人もいて笑顔が溢れるばかりの時間が過ぎて行きました。途中、石坂丈一町田市長の登場があり、このイベントに花を添えていただきました。

わんりいのブースは、今年もラオスの山の民・モン族への支援でモン族の女性たちが丹精込めて刺繍した美しい大小のポーチ、ペンケー



ス、健康保険証入れ、しおりなどを販売したほか、今回初めてとなる絵本作家の佐藤紀子さんデザインの各種トートバッグも合わせて販売し、刺繍の造形美や宮沢賢治をイメージしたバックに多くの方が足を止められ、売り上げに繋がっていました。16時に全てが無事盛会裏に終了しましたが、主催者の発表では昨年の400人の1.5倍の600人もの来場者があったそうです。



〈ブース出店団体〉

■わんりい ■レインボーチルドレン
■シリアンハンド ■(社)アムネステイ
インターナショナル日本町田グループ
■環境修復保全機構 ■東京科学少年
応援計画 ■Machida Philipino Friends
■ネパール・ミカの会 ■東京都行政書士
会町田支部 ■東京都社労士会・多摩支部
町田地区 ■国際ソロプチミスト町田—さつき
■町田国際交流センター(以上)